

木工コース



① 学習の内容

- 1年生は基本的な技術の習得を目指して6段階のプランター生産加工に取り組みます。
- 1年生後半からは応用的な題材であるタートルチェアやぷらん樽などの生産加工に取り組みます。
- 2年生は1年生にプランターの加工方法を指導するとともに第二段階の応用的な題材をお互いに教え合いながら生産加工に取り組みます。
- 3年生は、発展的な技術を習得するためにデスクチェストなどの高い技能を必要とする題材に挑戦し精密に仕上げるものの生産加工に取り組みます。

② グループ編成などの活動方法について

各生産物を2人から5人のグループで取り組んでいる。それぞれ3台分を1クールとし、一人ひとりが部品加工から組立仕上げ加工までを行うビルト生産システムで生産活動を展開しています。

また、加工方法や加工手順等については、お互いが教え合い効率的な生産方法を工夫しながら取り組むように指導しています。

③ わらい・目標

- ・「創意工夫」「試行錯誤」「整理整頓」「安全第一」を合い言葉に、技能の習得を目指し技術を高めます。



～活動場所～

- ・平成23年度は、本校1F教室等1-B～1E教室を使用
- ・平成24年度は、第2キャンパス体育館棟1F木工実習室を使用予定

～主な生産物の種類と価格～

(プランター¥400・¥500)	(タートルチェア¥1,000)
(キッズチェア¥700)	(ラティス¥500)
(コーナーラティス¥2,000)	(ぷらん樽¥2,000)
(OKぷらんだあ¥1,500)	(トランぷらんだあ¥1,500・¥2,000)
(デスクチェスト¥5,000)	(折りたたみチェア¥2,000)
(チャイルドチェア¥1,500)	

～コースの特徴やアピールなど～

- ・新しい加工方法や加工手順あるいは新技術等を開発した人には「金シール」「銀シール」がもらえます。(ヘルメットに貼る)
- ・どれだけ失敗しても失敗した部材を他の部材に活用できるので、安心して加工に取り組みます。
- ・怪我をしないような木工用機器の操作を繰り返し学習し、徹底して行っています。
- ・加工工程がわかりやすいように机の上に同じ部材を整えながら組み、効率性を高めています。

